

ぼうさい通信「まもる」

文責：防災教育主任
橋本道明
令和4年4月27日

熊本地震のことを覚えていますか？

今日、学校全体で緊急放送を利用した、身の守り方の練習を行いました。あの地震から6年という時間が過ぎようとしています。地震で被害を受けた建物や道路、景色を見て、心に穴が開いたような気持ちだったことを思い出してしまいます。



写真は熊本災害デジタルアーカイブサイトに掲載されている健軍商店街の写真です。崩壊していたアーケードも修復されています。八代市役所も新しくなりました。復興は成されたという気持ちでいっぱいになります。被害を受けた文化財も昔の材料を使って、壊れているところは補強して、復活に向かっています。地震の被害の大きかった益城町や阿蘇など、変わってしまったところも多くあります。しかし、熊本県民全体の前向きな姿勢が大きな災害からの立ち上がりにつながったということを忘れずにいきたいものです。

熊本地震の特徴と八代市の危険性

熊本地震では、断層が動いたことによって、熊本県内の広い地域で多くの建物が被害を受けました。八代市でも市役所や八代市民病院など、多くの建物が使うことができなくなりました。

八代市付近の日奈久断層は、今後、同じような地震を発生させる可能性があります。棚から落ちてきそうな危険なものなどがないか、今一度ご家庭でも確認をしてみたいでしょうか？



宇土市役所の被災状況



【提供：熊本県危機管理防災課】

熊本城の被災状況



阿蘇大橋の被災状況



益城町の被災状況

【提供：熊本地震デジタルアーカイブ（熊本県）】

地震の記憶を思い出してみよう

「熊本県 熊本災害デジタルアーカイブサイト」のホームページに右のQRコードよりアクセスできます。熊本地震、令和2年7月豪雨についての被害状況から復興の様子などを見ることができます。地震の怖さや創造的復興に向かう県民の努力を思い出してみよう。

